

No.	ご質問	回答
1	運用中のシナリオでエラーが発生して修正をおこなった際に、開発者が操作ミスなどで意図せずノードを削除したりする事故が発生しています。事故を少なくするためにサブルーチンごとにタブを分けていますが、それでも事故がおきます。 修正前後の差分を取る方法がありますでしょうか？ v7ではWSS形式でシナリオを作れるので、それをWinMerge等で比較すれば実現できそうな気もしますが、面倒なうえにv6で作ってあるシナリオはすべて作り直しになってしまうかと思います。 差分を取るツール や v6のシナリオをWSS形式に変換するツール などありますでしょうか？	差分をとる方法としてはWinActorのエクスポート機能でノードハッシュ値をCSVとして出力するという方法が考えられます。 こちらを利用すればWimMerge等で削除したノードや設定を変更したノード、追加したノードが特定できるかと思います。
2	入力先のシステムの負荷状態によって大幅に変化する画面遷移時間に柔軟に対応できるよい方法がありますか？ 追記：保存ボタンを押下して操作可能になるまで1〜30秒かかる場合等	画面の挙動やアプリケーションによって最適なケースが異なると思いますが、例えば以下のような方法が考えられます。 ノード「ウィンドウ状態待機」で「画面が操作可能になるまで待つ」などに設定し、待機時間を360秒などにする。 ※対象のダイアログが操作可能になればその時点で次の処理に進みます。 ノード「画像マッチング」で状態チェックをすることで遷移後の画面がマッチングするまで最大360秒待機させる。 ライブラリ「IE操作(読み込み待ち)」でIEの読み込みが完了するまで待機させる。 ※IEに限ります。
2	Excel処理する時、繰り返しで「範囲」を指定して "2" ～ "最終行"を設定されていましたが、最終行－1 の計算結果を「回数」に指定するのと違いはあるのでしょうか？「範囲」とは、何を対象とした値になるのでしょうか？	「範囲」は繰り返しを開始する数値と繰り返しを終了する数値を設定することができます。 また、「回数」との違いとしては繰り返しノードの下に設定できる「カウンタ」に設定している変数と同期します。 例えば今回のケースではカウンタが最初の処理では2になり、その後勝手に最終行までカウントアップしてくれますが、回数の場合はカウンタはかならず1からスタートするということになってしまいます。
3	処理が複雑なシナリオで、ノード数が500以上というようなシナリオがあるのですが、シナリオ修正の際に時間がかかっています。容量が大きすぎるのが原因でしょうか？一般的に適正ノード数は最大でどれくらいなのか教えていただけますでしょうか？	最大というのはないですが、個人的な経験から言うと大体300ノードくらいがメンテナンスもしやすく、ちょうどよい規模かなと考えています。 ノード数が多くなる場合はきっちりサブルーチンを分けてシナリオ作成することやシナリオを分割してV7で追加された「シナリオ呼び出し」機能などを使用することをお勧めします。
4	シナリオ作成ガイドラインは今年7月に新しいバージョンが出たのですね。前バージョンとはどんなところが違うのでしょうか？	バージョン7に対応したというところと細かい文言の修正といったところになります。
5	シナリオ作成ガイドラインはどこで入手できるのでしょうか	シナリオ作成ガイドラインについては特約店にお問い合わせください。
6	エラー発生時のリトライについて、エラー発生場所によってその時点でどのウィンドウが開いているかが変わります。そのような場合でも開いているウィンドウをそれぞれ閉じてきれいな状態でリトライする方法・コツを教えてください。	シナリオ内の例外処理内でシナリオ上で開く可能性のある画面をそれぞれ閉じる処理を入れておくというところでしょうか？ ただし、想定外のウィンドウなどが開いている可能性もあるため、絶対にきれいにウィンドウを閉じてリトライするという方法はないかと思います。
7	平文パスワードの話で暗号化で良い方法は無いですか？	「暗号化」ライブラリでやっていたければよろしいかと思います。 また、デフォルトの「暗号化」ライブラリだとWinActorを使用できる人に解読されてしまう可能性があるためそこも気を付けるのであれば項番15の回答をご参照ください。
8	Excelの値をコピーして、システムに入力するという単純なシナリオで、コピーした値と入力した値が違うという、再現できないエラーに頭を抱えております。実際にそういったことが発生した際に、どう対応しておりますでしょうか？張り付けた値を再度Excelとチェックする等、無駄にも思えるルートを組む等でしょうか？	まずは原因を探ることですね。（もう探られていると思いますが） エラーが発生する際のエクセルの値に対して何か法則性がないか考え、その原因について仮説を立て、対策を行い改善するか試してみるのが繰り返すことになると思います。 例えば、「012」の時に「12」となっているなら数値として値取得していると推測されるため、数値ではなくテキストとして値を取得するようにする。 上記のような法則性が見つからない場合はコピーした後に少し待機時間を入れてみるそれでも改善しない場合はチェックする処理を入れるとなるかと思いますが、必ずどこかには原因があるはずなので、エラーが発生した際に期待していた入力される値と実際に入力されてエラーになった値を記録し、データを蓄積していくことが長い目で見た際に必要になるかと思います。

9	暗号化の話でそのままノードを使用するのは危険では？	<p>どこまで気を付けるかによるのですが、おっしゃる通り暗号化をそのまま使用した場合自由にWinActorを使用できる第三者が覗けてしまう可能性はあります。</p> <p>そのため、「暗号化」、「複合化」のライブラリを多少変更し「ファイルの編集をロック」することもしていただけるとなよろしいかと思います。</p> <p>変更内容としては「暗号化」、「複合化」ライブラリの以下行を変更してください。 salt = "砂糖と塩を少々加えます." ※「上記の砂糖と塩を少々加えます。」という文章を任意の文章に変更</p>
10	毎月、前月分の労働時間集計に利用するばあい、ファイルの選択やシステムの選択範囲（前月の内容）など自動設定することはできるのでしょうか？7月に6月分の労働時間を集計するなど	<p>ファイルであれば、現在月のファイルパスと前月のファイルパスをそれぞれ作成し編集を行うといった方法になるかと思います。</p> <p>月については以下の方法で取得できるかと思います。 ①「日付取得」で現在日付を取得 ②「日付計算」で－1月後の日付を取得 ③「日付分割」で現在と前月の月をそれぞれ取得</p>
11	ローカル環境での実行では正常終了するシナリオが、WMCからの実行ではエラーになります。原因を調べる方法があれば教えて下さい。	<p>エラーログやエラー時のキャプチャなどを残し、エラーが発生しているノードの特定などを行いエラー原因について仮説を立てる⇒検証するといったことを繰り返すことになるかと思います。</p>
12	エラー時対応のために「ログ出力（ファイル指定）」を使ってログを残すようにしているのですが「ログ出力（ファイル指定）」は、このノード以降のログしか出力できません。シナリオの開始から終了までを出力するにはどういった工夫が必要でしょうか？	<p>WinActorのオプションから「実行ログを常に出力する」にし、ログ分割を「シナリオ実行毎に分割」に設定してはいかがでしょうか？</p> <p>または、「ログ出力(ファイル指定)」をシナリオの最初に配置するという手もありますが、シナリオ開始時のログはなくなってしまいます。 開始直後であればシナリオ開始時間などもほぼ近いものが取れるのでシナリオ開始時のログが必ずしも必要ではないと思うのですが、いかがでしょうか？</p>
13	パスワード等を記載したファイルの漏洩が懸念されますが、どのような管理を行えばよろしいでしょうか。 もしくは、ファイルを暗号化してWinActorで読み込む以外では読めないようにする方法等があるのでしょうか？	<p>エクセル自体にパスワードをかけてWinActorでは「Excel開く（読み取りパスワード付き）」で開く。 または、ファイルを置くフォルダにアクセス制限をかけ、WinActorを実行する端末にはそのフォルダにアクセスする権限を付けておくなどが考えられます。</p>